

27年4月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成27年 4月1日～ 27年4月10日

2. 調査実施方法

全国の国産材製材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
4月分の回答企業数は16社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

ア. 国産材

(1) 製材用原木荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/4月	27/5月	27/6月
入荷動向	スギ	△ 10.0	△ 10.0	△ 5.0
	ヒノキ	△ 37.5	△ 6.3	6.3
	カラマツ	100.0	0.0	0.0
	トドマツ	△ 25.0	△ 25.0	25.0
消費動向	スギ	△ 10.0	0.0	5.0
	ヒノキ	△ 18.8	△ 12.5	0.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	25.0	25.0	0.0
在庫動向	スギ	△ 27.8	△ 16.7	△ 11.1
	ヒノキ	△ 35.7	△ 21.4	△ 7.1
	カラマツ	100.0	0.0	△ 50.0
	トドマツ	△ 25.0	△ 50.0	25.0

・スギ原木の入荷は3ヵ月連続して減少、ヒノキは4月及び5月の減少が6月は横ばいに、カラマツは4月の増加が5月及び6月は横ばい、トドマツは4月及び5月の減少が6月は増加。

・スギの消費は4月の減少が、5月は横ばい、6月は増加、ヒノキは4月及び5月の減少が6月は横ばい。カラマツは3ヵ月連続して横ばい、トドマツは4月及び5がつの増加が6月は横ばい。

・スギ及びヒノキの在庫は3ヵ月連続して減少、カラマツは4月の増加、5月の横ばいが6月は減少、トドマツは4月及び5がつの減少が6月は増加。

(2) 製材原木価格動向 Weight. D. I.

品目	27/4月	27/5月	27/6月
スギ	△ 22.5	△ 22.5	△ 12.5
ヒノキ	△ 25.0	△ 12.5	△ 18.8
カラマツ	0.0	0.0	0.0
トドマツ	0.0	0.0	0.0

・スギ及びヒノキの原木価格は弱含みで推移、カラマツ及びトドマツは横ばいで推移。

モニターからのコメント

' (原木荷動き)

・カラマツ、トドマツは3月後半で官材の出荷が概ね終了、民材入荷も順調になり在庫増、しかし年度末在庫総量は年々少なくなり、原料集荷は予断を許さない。産業用途の消費は先月同様に堅調、ここに来てトドマツラミナー供給を開始したので消費増加している。

・トドマツは雪解けで山に入れず、伐採は5月中旬から。消費は順調。

・スギ、ヒノキは販売不振のため仕入れ調整、特にヒノキ。

・スギ在庫増えている。

・スギ、ヒノキの市場への出材量減、毎月の生産分のみ仕入れ。製材数量は変えず。在庫総量は減少傾向、毎月の生産分のみ維持。

・4月は入荷少し減らず、5月以降は4月後半の状況に応じて、消費は製品の動き見ながら対応。

・4月度の入荷が少なかった、4月以降も横ばいか。増産する選択肢はないが、減産するも地獄。在庫は現状維持。

・天候の影響なく出材はされると思うが、製材品、素材輸出業共に動きが鈍く、価格低迷は今のところ避けられない。消費は、バイオマス事業次第のところもあるが、他事業の動きもあり、多少の減少の可能性もあり。

・4月は記念市、天候により出材は良い。生産は変わらず少し減産気味。

・消費は、住宅着工が例年悪いためやや減少。

・ヒノキはこれまで比較的順調に入荷していたが、製品の不振による価格安の影響か年度変わり目の影響か入荷が減ってきた。ヒノキは売行き不振のため製材量を絞っている、スギはヒノキに比べると堅調。入荷が少ない分在庫が減っている。

(原木価格)

- ・カラマツ、トドマツの表面単価は変わらないが、特にカラマツの集荷量が不足し、集荷エリアを拡大し、実質運賃の上昇でコスト増。
- ・トドマツ国有林公売は高値安定。
- ・スギ、ヒノキが梅雨のため品質低下で下落予想。
- ・スギ出材増え、下げ。
- ・買い気が低くやや低調、バイオ等の下支えもあり底値は固い。
- ・少しの変動はある、通して均すると横ばい、底値か？
- ・原木を競争して購入する意欲ない。
- ・今の価格では素材生産の採算に合わずに、量を落とす→市場に出回る量が適量となり、少しずつ上昇してくるのでは。
- ・価格は横ばい、韓国旋風が吹き荒れている。2.5m×16cm上韓国行き（増大）。
- ・スギ丸太は出材が少ないため競り合いになる。ヒノキは出材の減少により若干強くなる。

27年4月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

(3) 製材品荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/4月	27/5月	27/6月
生産動向	スギ	△ 5.0	△ 5.0	5.0
	ヒノキ	△ 18.8	△ 18.8	△ 12.5
	カラマツ	25.0	0.0	0.0
	トドマツ	25.0	25.0	25.0
出荷動向	スギ	0.0	0.0	5.0
	ヒノキ	△ 12.5	△ 12.5	△ 18.8
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	25.0	25.0	25.0
在庫動向	スギ	15.0	25.0	20.0
	ヒノキ	18.8	18.8	25.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	0.0	0.0	25.0

・スギ製材品の生産は4月及び5月の減少が6月は増加、ヒノキの生産は3ヵ月連続して減少、カラマツは4月の増加が5月及び6月は横ばい、トドマツは3ヵ月連続して増加。

・スギ製材品の消費は4月及び5月の横ばいが、6月は横ばい、ヒノキは3ヵ月連続して減少、カラマツは3ヵ月連続して横ばい、トドマツは3ヵ月連続して増加。

・スギ及びヒノキ製材品の在庫は3ヵ月連続して増加、カラマツは3ヵ月連続して横ばい、トドマツは4月及び5月は横ばい、6月は増加。

(4) 製材品出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		27/4月	27/5月	27/6月
スギ	柱角 KD10.5×3	△ 60.0	△ 45.0	△ 25.0
	柱角 KD12×3	△ 55.6	△ 44.4	△ 33.3
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	△ 25.0	△ 12.5	△ 12.5
	母屋角	△ 25.0	△ 12.5	△ 12.5
	タルキ	△ 35.7	△ 21.4	△ 14.3
	間柱	△ 38.9	△ 22.2	△ 16.7
	ヌキ	△ 28.6	△ 21.4	△ 14.3
	平割	△ 28.6	△ 21.4	△ 14.3
	ラミナ	△ 12.5	△ 12.5	△ 25.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	△ 43.8	△ 31.3	△ 31.3
	柱角 KD12×3	△ 43.8	△ 31.3	△ 31.3
	土台角 10.5×4	△ 37.5	△ 18.8	△ 18.8
	土台角 12×4	△ 31.3	△ 18.8	△ 18.8
	通し柱 12×6	△ 12.5	△ 12.5	△ 12.5
	ラミナ	△ 40.0	△ 30.0	△ 30.0
	カラマツ土台角10.5×4	—	—	—
〃 梱包仕組み板	0.0	50.0	0.0	
〃 ラミナ	△ 50.0	0.0	0.0	
トドマツサンギ	0.0	0.0	0.0	

・スギ製材品の価格は、通し柱の横ばいを除いて全品目が弱含みで推移。

・ヒノキ製材品は、全品目弱含みで推移。

・カラマツ梱包仕組み板は4月の横ばいが5月は強含みで6月には横ばい、カラマツラミナは4月の弱含みが5月、6月は横ばい。

・トドマツサンギは、横ばいで推移。

モニターからのコメント

(製材品荷動)

・トドマツ生産は受注堅調、現状は少し動き鈍い（選挙絡み）、夏以降の仕事は確実にある、スタート時期の問題。多少納期の余裕もある、生産即出荷続く。

・稼働日数は変えず。スギ主力製品のフィンガージョイントが低調、ヒノキ製品は3月の遅れもあり今月出荷まとまる。在庫総量変えず。

・生産は様子見。出荷は4月は3月並、5月は少し動く見込み。在庫は生産落として少し減らす。

・減産とコスト減につながり踏み切れない。出荷の先行き見通し明るくない。未仕上げ品は野ざらし状態になりつつある。

・先行きが見えない状況の中で生産調整するメーカーも出てくるのでは。大手メーカーの投売り次第だが、為替の影響で米マツ、ホワイト辺りの材量が減少していることもあり、その部分のシェアをいかにして国産材にシフトさせることができるかがこれからの課題なのでは。動きの鈍さが各メーカーの在庫にひびいてきているのでは。

・スギ丸太の入荷量に合わせて製材をしているといった状況、ヒノキは半製品の在庫が溜まっているため生産調整。出荷はスギは比較的順調、ヒノキはいくらか安値でさばいた。スギ10.5cm角×3m等は在庫がかなり減少、ヒノキ10.5cm角×3mは調整しても増えている。

(製材品出荷価格動向)

- ・カラマツ梱包仕組み板、カラマツラミナーは運賃上昇傾向から4月には製材値上げを予定。
- ・トドマツサンギ価格は安定。
- ・スギ12cm角は特に販売不振、スギ4m材は荷動き好調で横ばい。ヒノキは続落で価格下落予想、4m土台はやや下落でいけそう。
- ・スギ売れない。
- ・スギは3月～4月にかけて、買い気低くやや下落。ヒノキも同様。
- ・ヒノキのメインのグレード単価は変えない。
- ・スギ、ヒノキ共に全体的に値下げが進行中。
- ・ヒノキ売れない。
- ・スギ製品がダブっている。
- ・スギは横ばい、ヒノキは下げ貴重が続く。

27年4月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 3

イ. 外材

(1) 製材用原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/4月	27/5月	27/6月
仕入動向	米マツ丸太	50.0	50.0	0.0
	NZラジアータ	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
消費動向	米マツ丸太	50.0	50.0	0.0
	NZラジアータ	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
在庫動向	米マツ丸太	0.0	0.0	0.0
	NZラジアータ	0.0	△ 50.0	△ 50.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—

・米マツ丸太の仕入は、4月及び5月は増加、6月は横ばい。ニュージーランド丸太は3ヵ月連続して減少。

・米マツ丸太の消費は、4月及び5月は増加、6月は横ばい。ニュージーランド丸太は3ヵ月連続して減少。

・米マツ丸太の仕入は、3ヵ月連続して横ばい、ニュージーランド丸太は4月の横ばいが、5月及び6月は減少。

(2) 製材用原木等購入価格動向 Weight. D. I.

品目	27/4月	27/5月	27/6月
米マツ丸太	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
NZラジアータ丸太	0.0	0.0	0.0
北洋エゾマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ原板	—	—	—

・米マツ丸太の購入価格は、弱含みで推移、ニュージーランド丸太は横ばいで推移。

モニターからのコメント

(原木荷動)

・NZラジアータ丸太は3月より注文減、輸出企業好決算のため3月（年度末）一斉輸出を止め4月以降への平準化を図っているか。3月の消費は、例年より悪かった。

(原木価格動向)

・NZラジアータ丸太は中国も景気悪い、暫く同値が続くだろう。

27年4月分

製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 4

(3) 製材品の荷動き動向 Weight. D. I.

品目	27/4月	27/5月	27/6月
生産動向			
米マツ製材品	50.0	50.0	0.0
NZラジアータ製材品	△ 50.0	△ 50.0	0.0
北洋エゾマツ製材品	—	—	—
北洋アカマツ製材品	—	—	—
出荷動向			
米マツ製材品	50.0	0.0	0.0
NZラジアータ製材品	△ 50.0	△ 50.0	0.0
北洋エゾマツ製材品	—	—	—
北洋アカマツ製材品	—	—	—
在庫動向			
米マツ製材品	△ 50.0	0.0	0.0
NZラジアータ製材品	50.0	50.0	0.0
北洋エゾマツ製材品	—	—	—
北洋アカマツ製材品	—	—	—

・米マツ製材品の生産は4月及び5月の増加が6月は横ばい。NZラジアータ製材品は4月及び5月の減少が6月は横ばい。

・米マツ製材品の出荷は4月の増加が5月及び6月は横ばい。NZラジアータ製材品は4月及び5月の減少が6月は横ばい。

・米マツ製材品の在庫は4月の減少が5月及び6月は横ばい。NZラジアータ製材品は4月及び5月の増加が6月は横ばい。

(4) 製材品の出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	27/4月	27/5月	27/6月
米マツ平角	△ 50.0	△ 50.0	0.0
米マツ正角	△ 50.0	△ 50.0	0.0
米マツ小割	△ 50.0	0.0	0.0
北洋エゾマツタルキ	—	—	—
北洋アカマツタルキ	—	—	—
NZ梱包材(割板)	0.0	0.0	△ 50.0
NZ梱包材(割角)	0.0	0.0	△ 50.0
NZ土木用材	0.0	0.0	0.0
その他	—	—	—

・米マツ製材品の価格は総じて4月及び5月の弱含みが6月には横ばい。

・NZ梱包材は4月及び5月の横ばいが6月には弱含み。

・NZ土木用材は3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(製材品荷動き)

・NZラジアータ丸太製材品は3月より注文減、輸出企業好決算のため3月(年度末)一斉輸出を止め4月以降への平準化を図っているか。3月の消費は、例年より悪かった。

(製材品出荷価格動向)

・NZラジアータ梱包材は、例年5月が最も動かない月故、価格が弱くなる月です。